



北の森林 国有林



写真：ネコヤナギ
(ヤナギ科ヤナギ属ネコヤナギ種に分類される落葉樹)

今月のトピック

- ・平成 28 年度 治山・林道工事コンクール
- ・国有林間伐推進コンクール



国民の森林・国有林

林野庁北海道森林管理局

受賞おめでとうございます

平成28年度 治山・林道工事コンクール表彰式

3月2日、北海道森林管理局において平成28年度治山・林道工事コンクール表彰式を行いました。



淵上局長からの挨拶

治山工事55件、林道工事34件の審査対象工事について、林野庁及び北海道森林管理局において審査を行った結果、最優良工事として林野庁長官賞6件、優良工事として北海道森林管理局長賞12件の工事を表彰しました。

また、受賞工事を担当した主任技術者・現場代理人へ北海道森林管理局長賞を授与しました。

受賞工事は、現地に応じた工種等の工夫、仕上の良さなど品質確保、自然環境への配慮などに努めたことが高評価に繋がりました。

なお、林野庁長官賞の表彰式は2月21日に林野庁において行われました。(治山課・森林整備第二課)

平成27年度に完成した

彰するもので、施工技術の向上について関係者の意欲高揚を図るため毎年開催しています。



受賞者のみなさん



受賞者代表挨拶の
興和建設 株式会社

受賞工事

【林野庁長官賞】

部門	署名	工事名	会社名
治山	網走南部森林管理署	斜里川治山工事	野村興業株式会社
治山	十勝西部森林管理署	コイカクシュサツナイ(370林班)治山工事	西岡建設株式会社
林道	東大雪支署	奥瓜幕2号林道(林業専用道)新設工事	徳井建設工業株式会社
林道	上川中部森林管理署	協和左2号林道(林業専用道)外新設工事	株式会社飯島組
林道	十勝西部森林管理署	雄馬別林道(林業専用道)新設工事	栗林建設株式会社
林道	網走南部森林管理署	江鷲奥林道改良工事	津別建設株式会社

【北海道森林管理局長賞】

部門	署名	工事名	会社名
治山	日高南部森林管理署	井寒台治山工事	株式会社村田土建
治山	宗谷森林管理署	ヤムナイ沢2治山工事	荒井建設株式会社
治山	宗谷森林管理署	シルコマナイ沢災害関連緊急工事	株式会社廣野組
治山	網走中部森林管理署	仁倉川治山工事	佐藤林業株式会社
治山	十勝西部森林管理署	オナオベツ(1144林班)その2治山工事	株式会社畑下組
治山	檜山森林管理署	厚沢部地区治山工事	株式会社森川組
治山	渡島森林管理署	駒ヶ岳(尻無Aの沢)地域防災対策総合治山事業	株式会社折谷組
林道	胆振東部森林管理署	萩野横断林道森野線災害復旧工事	株式会社福田組
林道	空知森林管理署	初音林道(林業専用道)2新設工事	株式会社植田組
林道	後志森林管理署	樽岸林道(林業専用道)新設工事	菊地建設鉱業株式会社
林道	上川南部森林管理署	両国1号林道(林業専用道)新設工事	株式会社吉岡建設
林道	網走中部森林管理署	いこいの沢林道(林業専用道)新設工事	興和建設株式会社

高い技術力を持ち、安全でかつ優良な工事を
施工されていることに対し、
心から敬意を表します



【シルコマナイ沢災害関連緊急工事】
宗谷署

北海道森林管理局長賞



【斜里川治山工事】

網走南部署

林野庁長官賞

主な受賞工事



【樽岸林道（林道専用道）新設工事】
後志署



【協和左2号林道（林道専用道）
外新設工事】 上川中部署



表彰を受ける株式会社 小玉

3月3日、北海道森林管理局大会議室において、平成28年度国有林間伐推進コンクールで優秀賞に選ばれた株式会社小玉への林野庁長官表彰の伝達式が行われました。



国有林間伐推進コンクールは、国有林野事業における間伐等の発注事業や立木販売において、優れた品質の森林整備を行うとともに、高い生産性や作業システムの特徴や成果等の取組を競い、優秀な事例を決定し、その優秀な事例を公表することにより、高効率かつ低コストな間伐等について民有林を含めた普及、定着及び推進に資することを目的としています。



車両系誘導伐等部門受賞の現場

今年度のコンクールでは、林野庁での審査の結果、全国で最優秀賞1事例、優秀賞3事例が選ばれました。

受賞した株式会社小玉は、石狩森林管理署管内の素材生産事業と造林事業において高性能林業機械の効果的な組み合わせによる生産性の向上や造林の一貫作業による再造林コストの縮減に取り組んだ点が高く評価されました。



株式会社 小玉による事例の紹介

なお、最優秀賞の表彰式は1月16日、林野庁において行われました。表彰事例の概要は林野庁HPで紹介しています。

（資源活用第二課）

水源地の森林づくりと

民有林との連携

地域課題の解決に向けた取組

空知森林管理署

北空知支署

石狩川流域雨竜川の上流部に位置する朱鞠内湖は、人造湖としては日本一の広さを誇ります。

湖には幻の魚であるイトウが棲息し、冬にはワカサギ釣り、夏にはキャンプや登山などの観光客が利用するなど、豊かな生態系と観光資源を有しています。

一方で、この地域は日本有数の極寒かつ豪雪地帯であることに加え、悪条件の土壌が分布することから「緑のダム」であ



朱鞠内湖上流域の造林地

る水源地の森林が劣化しやすく、無立木地化した場所が多くみられます。

そのため、朱鞠内湖上流域では、地形や土壌など環境条件に適した森林づくりを行い、無立木地を良質な水源地に再生させることが課題となっています。

朱鞠内湖上流域の森林づくり

森林づくりを進めるにあたり、広葉樹の天然更新を期待しつつ、更新補助としてアカエゾマツの植栽を行い針広混交林への誘導を目指しています。が、地形図および土壌図を活用し、土地の特性に応じた樹種の選定や作業方法を模索しています。平坦な地形かつ悪条件の土壌の場所には、従来よりも効率的で地表をあ



ブラッシュカッターによる地拵

まり痛めない特徴を持つ「ブラッシュカッター」という大型機械で地拵を行い、植栽労力の軽減を図るとともに、初期成長の良さが見込めるコンテナ苗を低密度で使用するなど低コスト化・省力化を心がけています。

今後は環境に適した広葉樹種の導入や、自然再生力を活用した低コスト造林手法である「掻き起しかきおこし」も行う、多様な森林づくりを進める予定です。

民有林との連携

朱鞠内湖上流域は国有林と幌加内町有林、北海道大学雨龍研究林が隣接して所在しており、森林の一体的整備や情報の共有、技術交流など連携しながら森林づくりを進めています。

幌加内町有林とは平成14年度に策定された「道北地域の森林環境創造ブランドデザイン」に基づき、水源林の一体的整備を行っています。取組開始から10年以上経過し、国有林では造林地の成績などの情報が蓄積されつつあるので積極的に情報提供しています。

また、北海道大学雨龍研究林とは相互の見学会を開催し、技術交流を進めています。

平成28年度は「掻き起こし」をテーマに見学会

を行いました。研究林から頂いた貴重な助言を参考にし、国有林でも実行可能な技術は取り入れたいと考えています。



北海道大学雨龍研究林との現地見学会

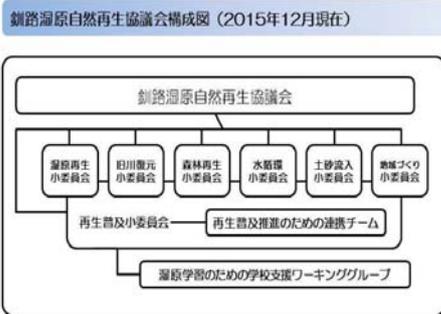
地域の森林をより良くするためには、その地域の森林の管理者同士が知見を出し合い連携することが不可欠です

今後民有林との連携を深め、地域の問題点を共有しながら朱鞠内湖上流域の森林を再生するための森林づくりを進める予定です。



釧路湿原森林ふれあい推進センター

また、協議会には各小委員会に共通する課題として、自然再生の普及と環境教育・市民参加の促進に横断的に取り組む「再生普及小委員会」があり、さらに、このうち



釧路管内の行政機関や関係自治体、NPO、地域住民等が構成員となつて釧路湿原の自然再生を進めるため、釧路湿原自然再生協議会を設立し、分野ごとに7つの小委員会を設置して活動が進められています。当センターは森林再生小委員会の構成員として、標茶町雷別で自然再生（森林再生）に取り組んでいます。

この活動は、釧路湿原の現状について知り、様々な観点から湿原保全・再生の取組について、グループごとにテーマを決めて調べているもので、

環境教育には関しては、地元の小中学校における釧路湿原および流域環境を題材とした学習の活性化を図る目的で「湿原学習のための学校支援ワーキンググループ」が設置されています。（構成図参照）このワーキンググループは、地元小中学校が行う学習活動を支援するため、「釧路湿原や流域の環境に関する情報の提供」「釧路湿原や流域の環境を題材とした学習資料の提供」「専門家やフィールドと学校をつなげる（具体的な）等の支援を行っています。今回、実際に学習の支援を実践している標茶町立標茶小学校5年生が総合的な学習の時間で取り組んだ「環境レンジャー出動！」に当センターも参加し協力しました。

また、森林を身近に感じてもらうため、地元標茶町雷別の森林を例にして、雷別の森林は釧路湿

そこで、地図と衛星写真を使い、釧路湿原周辺の川と森林の位置を確認して、釧路湿原の水が広大な地域から集まっていること。川の上流に森林があることを確認してもらい、森林の持つ機能、降った雨水の行方等の説明を行いました。



標茶町立標茶小学校

自分たちにできることは何かないか課題意識を持ちながら進めているそうです。当センターが担当したのは、「森林の再生」グループで、取りまとめている内容を聞いてみると、森林と湿原の水の関係に興味があるようです。

教育関係の皆様、お気軽にご相談ください。お待ちしております。

釧路地方には、身近な環境教育の場として釧路湿原があるため、森林が霞んでしまいましたが、当センターでは、今回のように釧路湿原自然再生協議会と連携した環境教育の実施を含め、国有林をフィールドにした森林環境教育、森林教室等への支援、技術指導を行っています。



地図で森林の位置を説明

原から離れた場所ですが、森林に降った雨が森林の土壌をとおり、湧き出し川になり、枯れることなく、安定した水量で、釧路湿原に注いでいることを説明して、森林と水の関係の理解を深めてもらいました。

こんにちは森林官です

網走南部森林管理署 津別森林事務所
地域統括森林官
(津別・里美担当区)
後藤 健一



当森林事務所の所在地津別町は、弟子屈町や阿寒町と隣接する、オホーツク圏内陸部に位置し、扇状に広がる河川流域の平地と山地によって形成されています。

山地は阿寒・屈斜路湖両カルデラの外輪山地、北見に隣接する町界山地からなり、総面積の約86%を国・道有林などの森林が占めています。



津別峠から見た屈斜路湖

「愛林のまち」を昭和57年に全国に先駆けて宣言するなど森林・林業を主体とし、大規模な合板工場や木材工場なども多くあります。

屈斜路湖周辺は4力所の雲海ポイントがありますが、その一つである津別峠には6月から秋にかけて多くの人が朝早く訪れ絶景を楽しんでいます。



津別峠からの雲海及び日の出

また、戦後植栽されたカラマツ林が伐期を迎え皆伐が多くなってきており、その跡地の植栽箇所が多くなっています。

カラマツは成長が早いことから国有林に限らず民有林にも多く植栽されていますが、植栽後50年以上たつ森林においては皆伐が行われており、伐採跡地への植栽も多くなっています。

伐採された木材の多く

が地元の合板工場に大型トラックで運び込まれています。

当森林事務所は、津別担当区7,365ha、里美担当区6,509haの合計13,874haの国有林を管理経営しています。

管内の北見市と釧路圏を結ぶ最短ルートになる道道屈斜路・津別線のちよつと上ったところは、津別峠展望台があり、ここからは屈斜路湖や遠く知床連山など雄大な景色が望めます。



スノーモービルも使用

森林事務所の主な業務は、国有林を巡視したり、森林施業に関する基礎資料となる地況林況調査や

収穫調査、各種請負事業の監督業務、境界巡視等、幅広いものとなっています。

笹が深く歩きにくい場所の地況林況調査は、冬期間にスノーモビルを使用し、スキーを履いて調査を行っています。

スキーには、雪上を歩く際にバックしないようスキー板の裏面にアザラシの毛を全面に張ったものを使用しています。



スキーを履いての調査

2月頃の厳寒期は、日中の最高気温がマイナス9度という日もありますが、事務所の職員の皆さんと共に厳しい環境条件のもと日々奮闘しています。

各地からの便り

「各地からの便り」の詳細

森もりスクエア

検索

森林教室「なんでも体験クラブ」

【留萌北部森林管理署】

2月4日、初山別村の学校林（国有林）において教育委員会主催の森林教室に講師として参加しました。

この森林教室は、今年はずでに夏・秋と開催し、今回が3回目の開催となります。

インフルエンザ等で急に来られなくなった児童が多く、当初予定の半分以下の参加者となりましたが、児童4名、保護者2名が参加してくれました。

森林教室では、地元の木材会社より寄贈された「かんじき」を使用し林内を散策しました。

参加した児童は、かんじきを履くのが初めてで、履くのに苦労し、途中脱げたりもしましたが、保護者等に助けられ楽しく歩いていました。

林内にはエゾユキウサギやキタキツネ、エゾシカの足跡があり、「何の足跡だろう?」とクイズを出したり、輪尺を使用した木の直径の測り方なども体験しました。



【スノーモービル体験】

また、児童が一番楽しみにしていたスノーモービル体験も行いました。恐る恐る乗車した子供たちがですが、いざスノーモービルが大変喜んでいました。天候にも恵まれ、会場は笑い声と笑顔に包まれ、森林教室を終えることができました。



【かんじきを履くのも一苦労】

【西紋別支署】

2月21日、滝上町立滝上小学校において、6年生児童10名を対象とした森林環境教育を実施しました。この森林環境教育は滝上みどりの森林（もり）推進協議会主催で実施されており、今年度3回目の開催です。

今回は、学校の教室で「森林クイズ」と題し、これまで2回行った森林環境教育での学習を振り返りながら問題に答えていきます。

1回目に学校林にて行った「森林についての学習とフィールドビンゴ」や、2回目に、滝上郷土館にて行った「滝上町の林業と歴史についての学習と生き物カードを使ったゲーム」を行いました。

また、キノコの「食べられるきのこはどっち?」では、色や見た目で毒の有無を判断できないことから、むやみに食べるのは危険だということを説明すると、児童から驚きの声があがりました。



これまでの森林環境教育の復習

滝上小学校で森林環境教育を実施



「食べられるきのこはどっち?」の問題です

今回の森林環境教育では、全問正解者はいなかったものの、全員が半分以上の問題を正解していました。来年度以降も滝上みどりの森林（もり）推進協議会の活動に参画し、森林の大切さを伝えていきたいと思えます。

冬のポロトでノルディックウォーキング

【胆振東部森林管理署】

2月26日、ポロト自然休
養林保護管理協議会主催に
よる「冬のポロトの森を学
習しよう」ノルディックウ
オーキングがポロト自然休
養林で行われました。

これは、冬のポロトの森
で、かんじきなどを履き、
眺望の素晴らしい望岳台を
目指してウォーキングを楽
しんでいただくことを目的
として行いました。

当日は肌寒いながらも天
候に恵まれて、近隣の登別
市や苫小牧市からの参加者
を含め約30人の参加があり
ました。

ウォーキングでは、ノル
ディックウォーキング愛好
会で用意したスノーシュー
と当署で用意したナラの曲
げ木のかんじきの中から、
参加者はそれぞれの特徴の
説明を聞きながら、自分に
合ったものを選んで装着し
ました。

道中、タヌキの足跡や、

シカの痕跡なども見られ、
参加者各々が知識を共有し
ながら、和気藹々の雰囲気
でのウォーキングでした。



スノーシューやかんじき
を使ってのウォーキング

ウォーキング後には、当
署職員による、ポロトの森
の身近な樹種の生存戦略を
題材に、森林生態系の話を
イラスト等を交えながらわ
かりやすく講話をしました。
参加者からは、日頃、疑
問に思っていたことについ
ての質問が次々出され、大
変好評でした。



参加者のみなさんと記念撮影

平成29年度 「野幌森林づくり塾」 の塾生募集について

野幌の森林は、都市近郊
の森林としては、その規模
と豊かさは他に類がないほ
どです。

その森林が平成16年9月
の台風により被害を受けま
した。

この「塾」は、その被害
地を100年前の原始性が感じ
られる自然林に再生してい
くことを目指し、森林づく
り作業の体験や生態系。

森林に関する学習を通じ
て、森林と人の関わりにつ
いて理解を深めていくこと
を目的とした森林環境教育
プログラムです。

森林づくりの活動に関心の
ある方を募集します。

※詳しくは、北海道森林管
理局HPをご覧ください。



北海道森林管理局は、広
大で大変豊かな森林を国民
共通の財産として、世代を
超えたさまざまなニーズに
応えられるよう、持続的な
管理経営に努めるとともに
より豊かな姿で次の世代に
引き継ぐことを使命として
おります。

北海道森林管理局のホー
ムページ内では、「公売・入
札情報」「知床世界自然遺産」
「エゾシカ対策」「森もり」
「スクエア」「イベント情報」
等の各サイト内において北
海道国有林の情報をお届け
しております。



お知らせ

「平成28年度 北海道森
林管理局業務説明会(官庁
訪問)」の募集について

北海道森林管理局では、国
家公務員採用一般職試験(大
卒程度試験)の受験を希望す
る学生を対象に業務説明会
(官庁訪問)を開催いたしま
す。

期日：平成29年3月22日(水)
場所：北海道森林管理局
募集×切：

平成29年3月17日(金)
※詳しくは、北海道森林管理
局HPをご覧ください。

広報 「北の森林 国有林」3月号
発行 林野庁北海道森林管理局
編集 総務企画部 企画課
〒064-8537 札幌市中央区宮の森
3条7丁目70
I P 電話 050-3160-6300
電 話 011-622-5213
F A X 011-622-5194

<http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/>